

中間支援活動助成（基本事業）

特定非営利活動法人兵庫ＳＰＯ支援センター

事業名：働いている人・遠隔地の人等多様な人のためのNPO等支援窓口

淡路島の中間支援 一

1. 事業概要

平日（月・金）及び日曜・祝日を含め、相談者の都合に合わせて、洲本を拠点にしながら淡路島島内の出張相談に対応し、ネットワークの構築、情報提供、人材育成、書類作成指導等を実施する。また、淡路市においては淡路市立図書館内でも相談対応に応じる。

2. 事業項目と成果

相談業務（相談拠点及び出張相談）12月末現在

相談	情報提供・ネットワーク	人材育成	書類作成指導	休日相談	出張相談
10	2	2	2	5	5

（相談事例）

・古津路土地組合が管理する土地の部分売買の課題が出てきて、法人化の相談があった。（南あわじ市）



・大学院生が、学生起業家としてまちの活性化に絡めて、兵庫県の起業助成金申請のアドバイスを行い、申請が受理された。（洲本市）

・「こども食堂」をやりたいとの相談があった。淡路島で最初の「こども食堂」の事例を作った当団体の経験とノウハウを提供できた。（南あわじ市）

図書館との共催事業「まちづくりネットワーク交流会」



図書館をまちづくりに活かし、市民とのつながりをつくる場として、図書館に地域や社会で活躍する人や団体をゲストに呼んで開催する共催事業。

・洲本市立洲本図書館 11月23日（日）「元素カルタイベントー知るって楽しい！学ぶって面白い！」をテーマに小学生時に元素カルタを作り起業したレウォン氏を講師に講演とカルタ大会を実施。（参加者29人）



・淡路市立東浦図書館 12月13日（土）「ことばと感謝とつながりが“立ち上がる力”を育てくれる」をテーマに社会福祉士の新崎江里さんが講演。（参加者18名）

アンケート 回答者11人 満足11人（他の質問回答省略）

調査研究「図書館×まちづくり」 淡路市立図書館パートナーの会の現状と課題及び今後の方向性について調査・アドバイス



「図書館×まちづくり」の実践団体として2年前に発足した「淡路市立図書館パートナーの会」これまでの取り組みを振り返り、今後の方向性を考える会議に同席。3月1日に「市民協働のあり方トークセッション」を行う。